

# 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和元年 10 月 17 日（木）～18 日（金）

## 2 調査の概要

10 月 17 日（木）

### （1）鹿児島県議会（鹿児島県鹿児島市）

調査内容：国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた取り組み等について

鹿児島県は、来年度開催される第 75 回国民体育大会・第 20 回全国障害者スポーツ大会の開催県であり、今年度 4 月から競技ごとにプレ大会を開催するなど、準備を進めている。平成 30 年度の福井大会での同県の順位は、天皇杯は 33 位台から 17 位、皇后杯では 23 位台から 16 位、今年度の茨城大会では天皇杯は 15 位、皇后杯は 12 位と、着実に順位をあげている。

こうしたことから、2024 年に本県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の参考とするため、競技力向上、機運醸成、施設整備、輸送等について調査を行った。



### （2）鴨池公園水泳プール（鹿児島県鹿児島市）

調査内容：施設の概要について

鴨池公園水泳プールは、PFI 手法により平成 23 年にオープンし、国際公認対応である 50 メートルの屋内メインプールのほか、25 メートルの屋内サブプール、幼児プール、屋外飛び込みプールを備えている。来年度鹿児島県で開催される国民体育大会では、本県と同様、当該施設で競泳、飛び込み、水球、アーティスティックスイミングの 4 種目の競技が行われる予定である。

このようなことから、本県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会での水泳競技運営の参考とするため、施設の概要について調査を行った。



10月18日（金）

（3）鴨池陸上競技場（鹿児島県鹿児島市）

調査内容：施設の概要について

鹿児島県立鴨池陸上競技場は、第27回国民体育大会のメイン会場として使用された競技場であり、同施設の面積は約31,000平方メートル、収容人数は12,544人となっている。来年度開催される第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会でもメイン会場として、総合開会式、閉会式を開催する予定である。

平成30年4月から薩摩酒造株式会社とのネーミングライツ契約により、愛称を白波スタジアムとしている。また、Jリーグの鹿児島ユナイテッドFCのホームスタジアムとしても使用されている。

このようなことから、本県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主会場の参考とするため、整備状況および施設の概要について調査を行った。

